

令和4年度第1回佐久市スポーツ推進審議会 会議記録（要旨）

日 時：令和4年10月12日（水）
午後7時00分から午後8時09分
場 所：佐久市役所 南棟3階会議室

出席者：佐久市スポーツ推進審議会委員9名（欠席1名）

教育長、事務局（社会教育部長、スポーツ課長、スポーツ課職員）7名

1 開 会

2 自己紹介

3 あいさつ

4 会長・副会長選出について

佐久市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、委員による互選
会長に雨宮委員、副会長に大塚委員

5 議 事

（1）佐久市スポーツ推進審議会について（資料1）

事務局 資料1により説明

（2）スポーツ課所管事務について（資料2）

事務局 資料2により説明

（3）第二次佐久市スポーツ推進計画について（資料3）

事務局 資料3により説明

（4）佐久市ハーフマラソン大会について（資料4）

事務局 資料4により説明

委 員 街というと中山道をイメージするが、コースとなっているのか。

事務局 中山道は塩名田の交差点から西に進む道路がコースとなっている。

委 員 定員4,000名の根拠はあるのか。

安曇野とか小布施の参加状況を参考して算定しているのか。

事務局 安曇野5,000名規模、小布施7,000名規模になっている。

佐久市では道路事情を鑑みると4,000名規模が適当と考えている。

長野マラソンの10,000人規模は、長野市のような大きな道路があるので可能である。

- 委員 他の大会の魅力はどう分析しているのか。
- 事務局 ハーフマラソン大会を検討するにあたり、定員の規模などから駒ヶ根市ハーフマラソンを参考にしている。
種目の構成もハーフ、5 km、3 kmとほぼ同じである。
コースは高低差が120m程度あるが、非常に満足度の高い大会となっており、要因を分析している。
マラソン大会参加者の評価を掲載しているサイトでは、「地元の方の応援が素晴らしい」「自然環境を体験できる（天龍川や山々など）」などのコメントが掲載されている。
このような成功事例をもとに、佐久市では浅間山が見えたり、街並みを楽しめたりするので、満足度の高い大会になると考えている。
- 委員 佐久市の人的資源を活用できたらいいのではないか。
長距離の佐久長聖高校の選手など。
特に1.5 kmは佐久長聖高校の選手が先導することで、好タイムがでるのではないか。
ハーフの一般対象では、大迫選手とか佐藤選手に最大限協力をいただくことで魅力ある大会になるのではないか。
開催時期が秋なので各給水ポイントで、林檎や葡萄などの果物を地域の方々の協力をいただきながら、提供出来たらいいのではないか。
最近流行のスイーツマラソンから果物マラソン、フルーツマラソンというのはいいいのではないか。
- 事務局 コースに浅科地区と野沢地区を通るので、ゆかりのある選手として、萩谷楓選手や上野裕一郎さんなどをお呼びして参加者と交流が出来ればいいと考えている。
また佐久長聖高校の選手は県大会の時期と被るので、相談にはなると思う。
フルーツについても駒ヶ根ハーフマラソンもゴールした後にフルーツの提供を行っていた（現在はコロナの影響で提供していない）。
来年コロナの影響がどうなっているか分からないが、落ち着いていればフルーツの提供なども行いたいと考えている。
- 委員 コースに高低差が結構あるように感じるが、佐久長聖高校の監督などに相談は行っているのか。
- 事務局 高見澤監督のほか、地元のオール佐久駅伝部などの選手にも意見をいただき、現在のコースとなっている。

(5) 運動部活動の地域移行について（資料5）

事務局 資料5により説明

委員 東信地区の総合型クラブで9月2日に新潟県村上市から講師を招き講演をしていただいた。内容が多岐に渡るのでまた機会があればお話

しできればと思いますが、1点だけお話するとコーディネーターとして、外部指導者、学校、保護者の調整役が必要である。
全体ではなく各学校、競技ごと進めていかないと上手くいかないと伺っている。

(6) その他

6 その他

RainboW Walking 事業について

7 閉 会

※備 考

傍聴人 なし